

プロローグ

聖徒たちと歩む聖書
プロローグ

創世記1:26～2:3

「天地創造」

～最初の天地と地の再創造～

【今日のアウトライン】

I. 最初の天地の創造と
サタンの墮落

II. 6日間の地の再創造

III. 主の安息

IV. まとめと適用

神の安息を味わおう



I . 最初の天地の創造とサタンの墮落

創世記1:1~2





『はじめに、神は、天地を創造された。』

創世記1:1

【最初の天地創造】 創世記1:1

初めに、神が天と地を創造した。

①聖書の神は、**天地を造られた神**である。

②この世界には、**はじまり**があった。
⇒**終わり**もある。

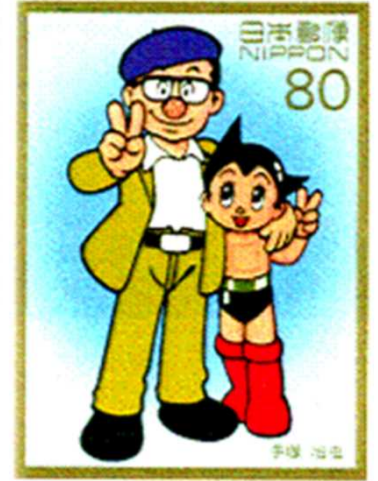
③聖書は、神からの一方的な情報開示。**(啓示)**
人には知り得ない、神の視点を教えるもの。

※この一章一節を受け入れるなら、
聖書全体を、そのまま受け入れられる!!



【一神教における、神と人との関係とは？】

★**創造主**(造った方)と、★**被造物**(造られたもの)



※例えば、漫画家と、キャラクターの関係。

⇒作者は、キャラクターに対して、絶対的。

- ・アトムは、作者の手塚治虫の存在を知ることができる？
- ・手塚治虫が、キャラクターの一人になって現れたら？

創造主が、被造物である人間に直接語りかけた → **啓示**

創造主が、被造物と同じ姿で現れた → **イエス・キリスト**

【カオスに陥った世界】 創世記1:2

地は**茫漠**として何もなかった。やみが大水の上
にあり、神の霊が水の上を動いていた。

※トーフー・ワ・ボーフー ...茫漠、混沌、
形なくむなしく。

“神の裁き”という文脈で使われる言葉。

⇒イザヤ34:11、エレミヤ4:23

完全に造られた世界が、神の裁きによって
トーフー・ワ・ボーフーの状態に陥った!!

一体何が起こった？



【サタンの創造と墮落】 エゼキエル28:12~16

あなたは全きものの典型であった。知恵に満ち、美の極みであった。

あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石に取り囲まれていた。...わたしは、油注がれた守護者ケルビムとしてあなたを任命した。あなたの行いは、あなたが創造された日から、あなたに不正が見出されるまでは、完全だった。

あなたの商いが繁盛すると、あなたのうちに暴虐が満ち、こうしてあなたは罪ある者となった。

そこで、わたしはあなたを汚れたものとして神の山から追い出した。...火の石の間からあなたを消え失せさせた。

※イスラエル北方のツロの王への宣告の中の挿入句。
サタンの墮落は、あくまで数あるサブテーマの一つ。



【サタンの創造と墮落】 エゼキエル28:12~16

■数少ない情報から分かるサタンの墮落

- ①サタンは、最高位の天使として創造された。
⇒神の最側近・守護者ケルビム
- ②最初の世界のエデンの園を治めていた。
⇒様々な宝石で彩られた鉱物豊富な世界。
- ③繁栄したサタンは、おごり高ぶり、神に反逆。
- ④サタンは、宝石の園エデンから追放され、
世界は、トーフー・ワ・ボーフーに陥った。



世界の破壊は、
二段階で起こった！

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

サタンの
墮落

人類の
墮落

キリストの十字架



キリストによる
←最後の裁き

最後のアダム
←キリストの
再臨

現在(教会時代)

千年王国(エデンの回復)

新天新地

黙示録21〜22章

【カオスに陥った世界】 創世記1:2

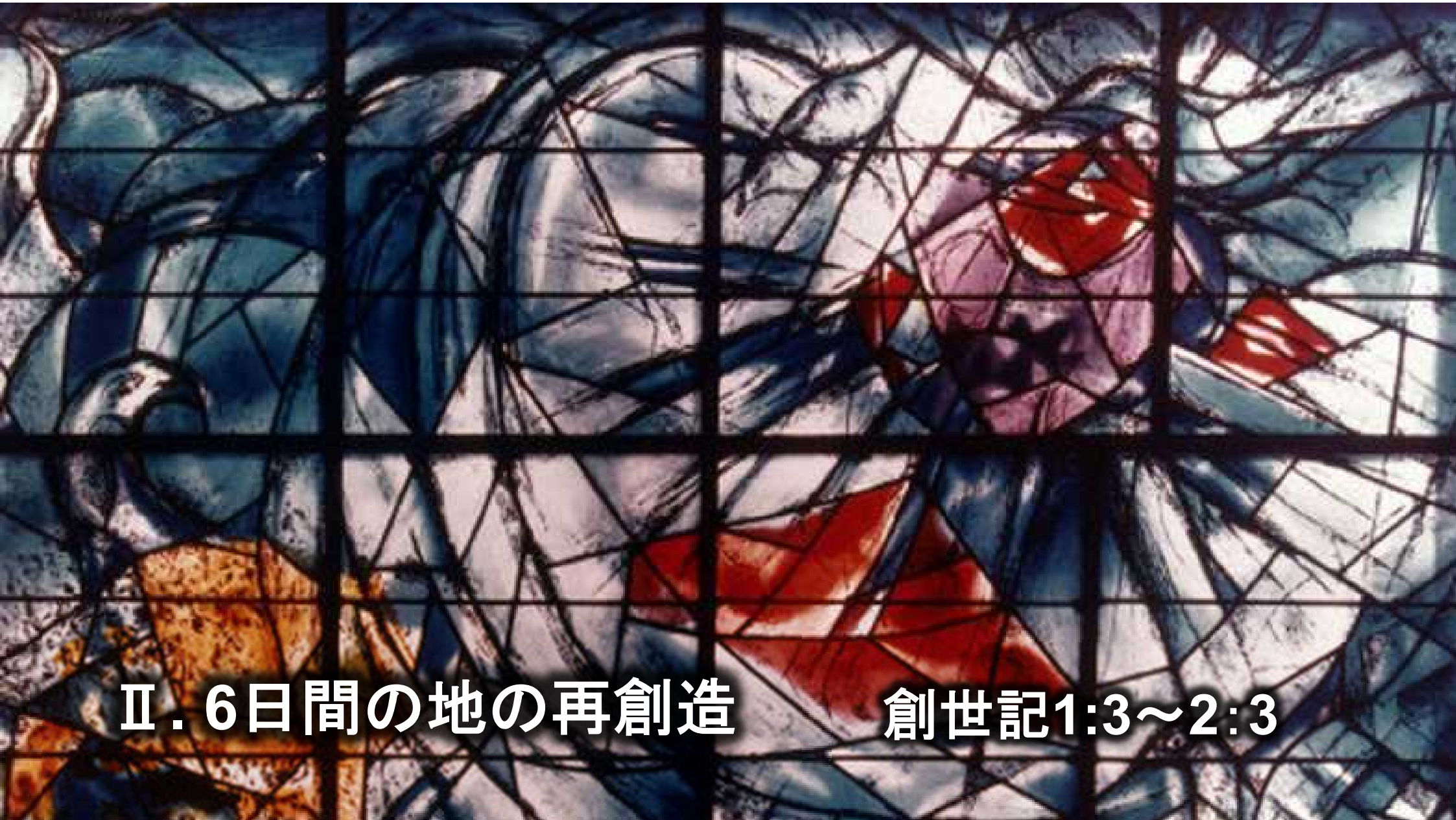
「地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上
にあり、神の霊が水の上を動いていた。」

※テホム ...深淵、深い水。⇒裁きの結果。
⇒カオス・混沌が極まった状態。

※聖霊が、親鳥が卵を抱くように、
傷ついた世界を抱いている。

卵の殻の中で、命が育まれているように、
聖霊の内に、新しい命が育まれている。





Ⅱ. 6日間の地の再創造

創世記1:3~2:3

第1日

神の光の出現

神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。

創1:3



第2日

空と海の出現

「大空が水の真ただ中であれ。

水と水との間に区別があれ。」 創1:6



第3日

大地と海、植物の創造

「天の下の水が一所に集まれ。かわいた所が現れよ。」

創1:9

第4日

太陽と月星の創造

「光る物が天の大空にあって、昼と夜とを区別せよ。」

創1:14



第5日

魚と鳥の創造

「水には生き物が群がれ。鳥が地の上、天の大空を飛べ」

創1:20



第6日

地上の生き物の創造

「**地**が、種類にしたがって、**生き物**を生ぜよ。家畜や、はうもの、野の獣を、種類にしたがって。水には**生き物**が群がれ」

創1:24

【天地創造の一日】 創世記1:3～5

神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。神は光を見て良しとされた。神は光とやみとを区別された。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕があり、朝があった。第一日。

※光あれ ...物理的な光ではない。

⇒神の栄光の光(シャカイナグローリー)

※良しとされた

⇒一つの創造のしめくりに繰り返される。

※聖書の暦では、一日は、日没から日没まで。

⇒一日、24時間だと強調されている!!



【天地創造の一日は？】 創世記1:3～2:3

■ 天地創造の一日は、24時間!!

⇒長い年月というのは、人間の勝手な解釈。

- 被造物は、時間の制約を超えられない。
時間を止めたり、戻したり、絶対にできない。
しかし、**神にはできる**。

(Ⅱ列王20:11、ヨシュア10:13他)

- 創造主は、この次元の時間に制約されない!!
例)一コマで、10年を経過させる漫画家。



天地創造の6日間

1日目	光あれ!! ...神の栄光が現れた!!
2日目	空と海の出現 ...水が天と地に分けられた。
3日目	陸地の出現、植物の創造
4日目	太陽と月、星々の創造 ...物理的光源の創造
5日目	海と空の生き物の創造 ...魚や鳥の創造
6日目	地上の生き物の創造 ...けものや昆虫、地上の動物

そして、6日目の最後、創造のクライマックスへ



第6日

人間の創造

「さあ人を造ろう。

われわれのかたちとして、われわれに似せて」

創1:26



第6日

世界の完成

「神はお造りになったすべてのものを見られた。

見よ。それは非常に良かった。

夕があり、朝があった。第六日。創1:31」



Ⅲ. 主なる神の安息

創世記2:1～3

【第7日目】 創世記2:1~2

こうして天と地とその万象が完成した。神は第七日に、なさっていたわざを完成し、第七日に、なさっていたすべてのわざをやめられた。

※A:わざを完成し = À:わざをやめられた
典型的な対句法(ヘブル的文学表現)
...同じ意味を、違う表現で繰り返す。

■一つの言葉に収まりきらない、
神のみ業を讃えている。

■神が休まれたのは、疲れたから、ではなく、
すべての創造の業が、
完全に成し遂げられたということ。



【七日目の安息】 創世記2:3

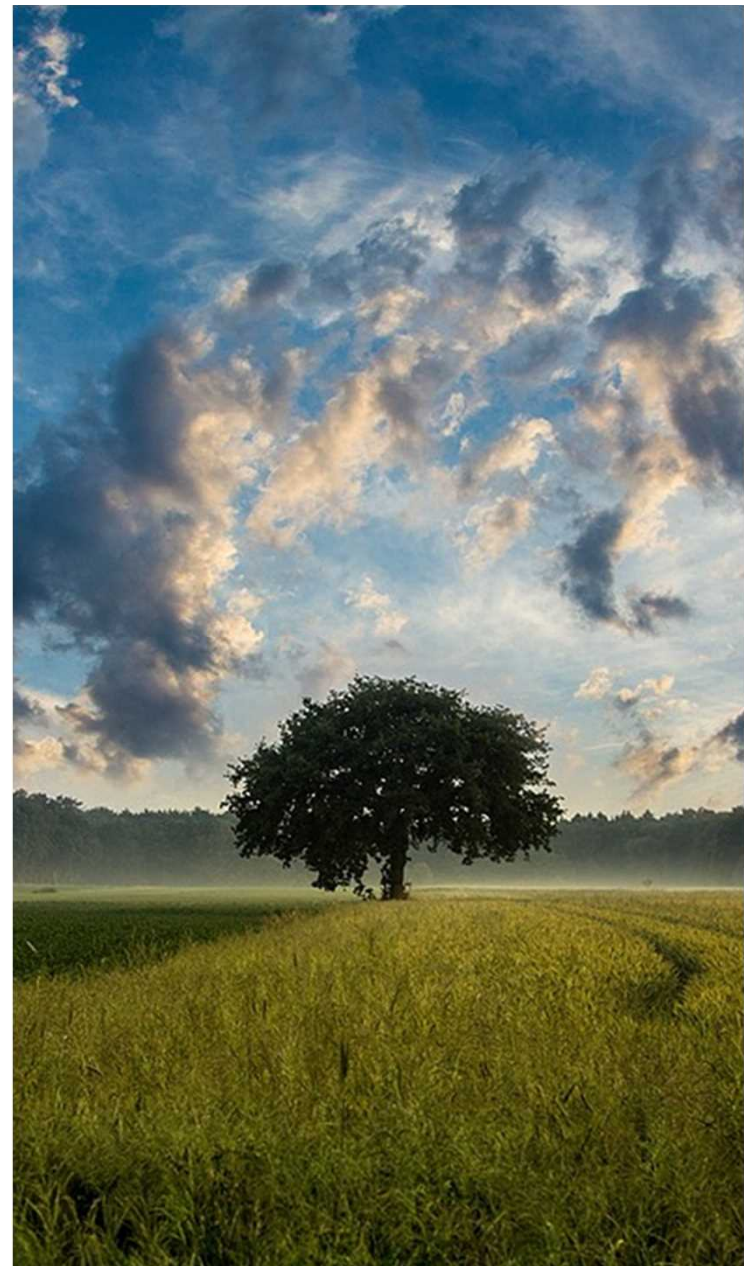
神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた。その日に神が、なさっていたすべての創造のわざをやめられたからである。

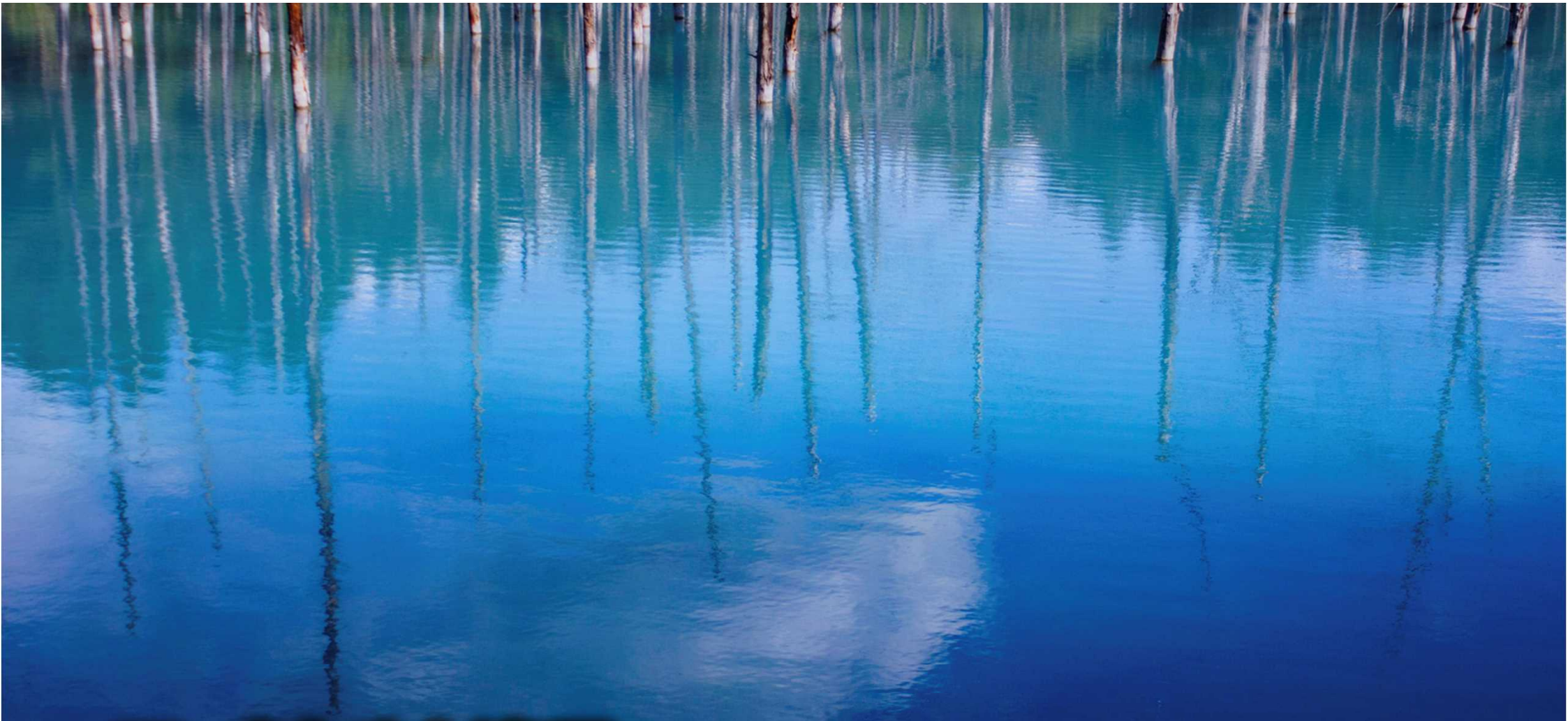
■7日目も、一日24時間。

↑安息は今も続いている(byエホバの証人)
私たちは安息日の掃きだめにいる？

※聖とされる ...神のもの、きよいものとして、
他とは完全に区別されること。

■主を信じた者は、聖とされ、
永遠の安息に招かれる。





IV. まとめと適用

神の安息を味わおう

A lush, misty forest scene with sunlight filtering through the trees. The image is a vertical photograph of a dense forest. The trees are tall and thin, with a thick canopy of green leaves. Sunlight is streaming through the trees, creating a hazy, ethereal atmosphere. The text is overlaid on the center of the image.

【神の安息を味わうために】

まず必要なのは、創造主と出会い、受け入れること。

【わたしの創造主との出会いの証】

人生の目標も見えないむなしさの中で、ふと旅だった北海道。
40日間の自転車旅行の最中、広大で深い樹海のただ中で。

ある瞬間に、突きつけられたのは、
吹けば飛ぶような、あまりにもちっぽけな自分が、
今この瞬間、確かに生かされているということ。

すべてを支えておられる、創造主がおられるのだと、
はじめて知らされた。

【そして、イエス・キリストとの出会いへ】

「神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。ローマ1:20」

創造主を受け入れた者は、
イエス・キリストとの出会いへ導かれる。

本当の出会いには、さらに多くの月日を必要としたけれど....。

【神の安息を味わうために必要なこと】

■ 天地万物を造られた主は、すべてを良しとされた。

世界は最初、神の愛に完全に包まれていた。

■ 人は、罪を犯して神から離れてしまったけれど、

主の救い・キリストを受け入れる者は、

再び、神の完全な愛の中に招かれる。

■ 神の安息を味わうために必要なことは、ただ一つ、

イエス・キリストの福音を信じること。

【神の安息を味わおう】

■福音を信じたすべての人は、信じたその瞬間、神の永遠の安息の中に招かれている。

■神の安息をさらに味わうために、命のみことばである聖書を学び、理解を深めよう。御言葉により、聖霊により、主ご自身との交わりを深めよう。互いにキリストの体である兄弟姉妹との、交わりを深めよう。

この学びが、主の安息をさらに味わうための、知的、体感的、体系的学びとなっていきますように。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

あなたがあたえ、約束(やくそく)してくださった、

永遠(えいえん)の安息(あんそく)を、さらにあじわい、

よろこびあふれるものとしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」